



Event

参加無料

入門編

税制・補助金セミナー

～ 補助金・制度改正の活用方法とは ～

初めて補助金を申請される事業者様が有利です！



本セミナーでは、初めて補助金を申請される事業者様やこれから始まる制度改正ポイントの勘所をわかりやすくご紹介いたします。

金沢会場

3月11日(水) 14:00～
金沢勤労者プラザ

富山会場

3月12日(木) 14:00～
北日本新聞社 越中座

お申し込みはこちら

弊社 HP にてお申し込み受付中です。



プリンタ消耗品
事務用品の購入は

Net23

が便利です

<https://www.coworco.com/hcs>

1 プリンタ消耗品
事務用品を
Webから簡単購入！

2 34,000 点にのぼる
豊富な品揃え！

3 14 時までの
ご注文で翌日お届け！

バイホロン株式会社 様

(所在地：富山県富山市)

Case Study

現場帳票の電子化は、アイデア次第で効果無限大！



バイホロン株式会社 大沢野工場外観

導入事例としては、今回で2 度目のインタビューとなります。

永森：前は導入直後の 2013 年 9 月にインタビューを受けました。あれから 6 年以上経ちましたが、「ConMas i-Reporter」の活用範囲はさらに広がっています。

あらためて、導入当時の状況を教えてくださいませんか？

永森：製造原価を正確に捉えるためには、作業者と作業工程ごとに作業時間を記録する必要がありましたが、現場に記録の負荷をかけないよう、作業指示書単位のトータル時間を紙に記録し、作業終了後に PC に入力していました。簡単な記録方法で正確な情報を収集する手段として、HCS さんから「ConMas i-Reporter」を紹介してもらいました。1 日当たり 150 ～ 200 程度ある作業指示書を電子化したことで、製番毎の各工程の作業実績を細かく記録し分析できるようになり、作業改善につながりました。

その後はどう活用されたのでしょうか？

永森：製造原価の観点では、さらに精度を上げるため、作業の前準備や後片付け、休憩時間や障害対応時間なども記録するように改善しました。その他、5S パトロール点検票や改善提案書も紙から「ConMas i-Reporter」に置き換えました。

最近の新たな取り組みについて、その背景を教えてくださいませんか？

永森：製造現場の設備が故障した時の、修理依頼の運用を見直しました。以前は故障の発見者が修理部門に電話で状況を説明していましたが、うまく伝わらず、修理部門が現場で再確認する必要がありました。また、発見者の上長が故障

バイホロン株式会社様は 1975 年の創業以来、健康補助食品などの製造を通じて、多くの人々の美と健康をサポートされています。国内大手メーカーからの受託生産をメインに「製造力」にこだわり、食品安全にも積極的に取り組むことで、受注拡大されてきました。

今回は、2013 年からご利用いただいている、iPad によるペーパーレス『現場帳票』記録・報告・閲覧ソリューションの新たな取り組みについて、バイホロン株式会社 生産管理部 ユニットリーダー 永森公章様にお話を伺いました。(以下、敬称略)

の事実と修理の要否について認識しているか不明でした。紙の修理依頼票もありましたが、利用も徹底されておらず、コミュニケーションが非効率な点について修理部門から相談を受け、「ワークフロー機能」の利用を検討しました。

利用してみてもいかがでしたでしょうか？

永森：修理依頼票は Excel をベースにして帳票画面作成が簡単にできたことは言うまでもありません。帳票への「ワークフロー機能」の組み込みは、承認グループ設定など工夫が必要な点もあったので、サポート窓口にお問い合わせながら対応しました。修理依頼票には、写真を貼り付ける項目を設けたので、故障箇所を撮影し、修理依頼票に貼り付けることで、修理部門は視覚的に事象を捉えることが出来るようになりました。また、ワークフローを利用することで、承認や修理の状況を関係者間で共有できるようになり、コミュニケーションの問題が改善されました。

今後の展望を教えてください。

永森：現在は製造部のみですが、来期は倉庫部門や品質管理部門など、間接部門にも「ConMas i-Reporter」の活用範囲を広げる予定です。

貴重なお話ありがとうございました。

『製造力』をもとに
常に新しい光を求め
人々の健康と豊かな社会をつくります



教えて、あいちゃん！

～第1回「エコシステム」編～



どうしたの？暗い顔して。

同期が「今の時代は、エコシステムが重要だよな～」って話してたから、俺、「そうだなー、地球は大切にしないといけないからな～」って相槌したら笑われちゃってさ。



そっかあ～、「エコ」だもんね。ドンマイ！



ちょっと前までは「環境」に関する意味合いが強かった「エコシステム」だけど、最近のビジネスでは「ビジネス・エコシステム」と言って、違った意味で使われているんだよ。

そうなの！？詳しく教えてよ、あいちゃん！



今の競争社会を勝ち抜くためには、企業は常に変化と進化が求められているんだよね。でも、1つの企業だけで新しい商品やサービスを展開していくには限界があるわけ。



そこで、あらゆる枠組みを超えて、時には異業種やライバル企業とも手を組むの！技術やアイデアを集約し、短期間で新製品や新サービスを開発することができるのよ。こんな仕組みを、「ビジネス・エコシステム」というの。

そうだったのか～！



そういえば最近「協業から共創」という話をよく聞くよね



登場人物



あいちゃん：某IT企業の社員



たっくん：製造業の社員、あいちゃんとは大学時代のサークル仲間



ちなみに、IT業界では、またちよっと意味合いが違って来るの。

なにー！まだあるのか～。



ITは苦手なんだよなあ



簡単に説明するね！

IT業界の場合は、クラウドサービスをイメージすると分かりやすいわ。



代表例は「Google MAP」ね。インターネットで住所を入力すると地図が表示されるやつ。大勢の人がいろんなデバイスの異なるアプリを使って地図を見ているでしょ？このような仕組みを「エコシステム」というの。

もっと詳しく知りたい場合は、HCSの担当営業に直接聞いてみてね。



ちなみに、2月18、19日に「クラウドサービス活用セミナー」を開催するから、ぜひ参加してみて～。

セミナーかあ～！参加してみようかな。



「クラウドサービス活用セミナー」

金沢会場

2月18日(火) 10:00～
金沢勤労者プラザ

弊社 HP にて
お申し込み受付中です。

富山会場

2月18日(火) 14:00～
北日本新聞社 越中座

福井会場

2月19日(水) 14:00～
福井市地域交流プラザ



HCS のよこが



Cloud Labs (クラウドラボ)
マネージャー

柴田 俊輔 さん

Q. 現在の業務内容は？

当部ではクラウドサービスをはじめ、お客様のお悩み解決策を数多く持っており、提供できるサービスを「いかにして知っていただくか」を常に考えています。また、日頃からアンテナを張り最新IT情報を入手し、お客様により良いサービスをご提供できるよう新しいサービスの企画・立案を行っています。

Q. 休日の過ごし方は？

子どもと動物園や水族館へ遊びに行きます。年間パスポートを持つくらい通っているの、動物の性格も覚えめました。最近のイチオシは、富山市ファミリーパークのカモシカ、タケコです。名前を呼ぶと「しゃあなし感」満載で近づいてきてくれます(笑)。



編集後記



本号より、新コーナー「教えて、あいちゃん」が始まりました！これまで堅苦しい記事が多かったの、お客様に気軽に読んでもらえるような記事を書きたい！載せてほしい！という、私たち編集者の思いと営業の声から、このコーナーができました。登場人物の設定は悩みに悩んだ結果、「IT」にちなみ、あい (I) ちゃん、たっ (T) くんとなりました。今後、随時掲載予定ですので、皆様に楽しんで読んでいただくと幸いです。もしよろしければ、ぜひ感想を営業までお話しください。(まつお)

お問い合わせ



全カパートナー

北陸コンピュータ・サービス株式会社

営業本部 ICT イノベーション推進室

〒939-2708 富山市婦中町島本郷 47-4
TEL (076)495-9824 FAX (076)495-9843

www.hcs.co.jp